

事業実施の目的	町内の園校のすべてが隣接しているという連携しやすい環境を活かし、保小中の連携が継続的で実効性のあるカリキュラムを作成・実践するとともに、保小中のみならず家庭・地域との連携を強化し、家庭の教育力の向上を図りながら0歳児から中学3年生まで一貫した方向性で子どもたちを育成する。
----------------	--

事業内容・成果 (R4年度)	<p>1. 主な取組内容について</p> <p>【架け橋期のカリキュラム開発会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> □開発会議メンバー 大学教授、認定こども園園長・副園長、小・中学校校長、年長児担任、1年生担任、保護者等 14名 □開催頻度 開発会議 3回、保育士・教員合同研修会 1回、部会長打合せ会 1回、その他部会を随時開催 □会議内容 事業内容の説明、情報共有、カリキュラム案の検討 <p>【架け橋期のカリキュラム】</p> <p>開発会議メンバーで組織する3つの部会が担当部分のカリキュラム案を作成し、大学教授の指導助言のもとカリキュラム開発会議において全体で協議。町特産「ミネラル野菜」とのかかわりを軸としてカリキュラムを編成。</p> <p>〔部会〕①架け橋期カリキュラム部会 ②連携（一貫）カリキュラム部会 ③家庭・地域教育部会</p> <p>【園・小中学校における体制】</p> <p>既存の保育・教育活動から年長児と1年生が交流（連携）できる活動等の洗い出し。開発会議メンバーである園長、校長、担任等を中心としてカリキュラムに基づく交流活動の実践や保育・教育計画への反映。</p> <p>【自治体における体制】</p> <p>福祉介護課（認定こども園を所管）と学校教育課（学校を所管）が開発会議の事務局として連携。幼児教育保育アドバイザーと学校教育アドバイザーを調整役として配置。全ての保育士・教員を対象に合同研修会（遊びと教科のつながり）を開催。</p> <p>2. 主な成果について</p> <p>カリキュラムを作成したことにより、保育・教育計画に交流活動等を入れ込むことができたため、確実な実践が見込めるようになった。会議や研修会を通して、保育と学校教育のつながりについて理解を深め、意識が高まった。（R5から定期的な相互参観を実施）</p>
--------------------------	--

事業実施地域・協力園校 (R4年度)	<p>【実施地域】</p> <p>福島県耶麻郡西会津町</p> <p>【協力園校】</p> <p>幼：公立保育所型認定こども園 1園</p> <p>小：公立小学校 1校 中：公立中学校 1校</p>	今後の目標 (R5年度)	<p>令和4年度については、コロナ禍により交流活動を十分に展開することができなかった。今年度は、カリキュラム案に基づく実践を積極的に行っていくとともに、実践の結果を踏まえてカリキュラム案の見直しを図っていく。</p> <p>また、定期的な相互参観等により保育・教育活動について理解を深めていく。</p>
------------------------------	---	------------------------	---

保小中&家庭・地域が力を合わせて育てよう「挑む心とやり抜く力で、未来を創る西会津っ子」

成長段階	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳
	乳児期	幼児期初期			幼児期後期		架け橋期		学童期			後行期		思春期		
				年少	年中	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	
発達段階に応じた子どもの姿	<p>【心身ともに健康で、明るく思いやりがあり、自分で考え進んで行動する子】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○のびのび育ち生活リズムが整える ○気持ちや感じの場が整える ○身の回りのものに関わり感性が育つ <p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体を思うように動かせる ○身の回りのことを自分でしようとしたり、したいこと、してほしいことを言葉で伝えたりできる ○子ども同士の関わりを持とうとする <p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全身を上手に使いながら活発に遊ぶ ○1日の生活の流れを見渡し進んで行うことができる ○集団的な遊びや協同的な活動ができる ○身近な環境に積極的に関わり、関わり方や遊び方が分かる 	<p>【始原期の終わりに達して嬉しい10の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自分の心と体を大切にすることを大切にできる ②自分ですべきことを自分で行動できる ③相手の思いや気持ちを感じて行動できる ④してよいことと悪いことを区別して行動できる ⑤周りの人にも優しく接することができる ⑥おもちゃのついで遊び・気づき・気づき・気づき ⑦自然や命の不思議・尊厳に気づき大切にできる ⑧食生活や健康・環境や大卒など保護者を持つことができる ⑨言葉により身近な人と心を通わせることができる ⑩感動したことやイメージを言葉で表現し伝えられる 	<p>【10の心身の成長のために挑戦し続ける姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自分の心身の成長のために挑戦し続けることができる ②すべきことを思い強く行うことができる ③相手のことを思いやりよく生活できる ④よいことを進んで行うことができる ⑤おもしろく自分から進んでいこうとする 	<p>【粘り強く取り組む力を身に付けた、気づき、考え、実行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に、粘り強く、学習に向かうことができる(②④⑥⑧) ○粘り強い心をもっている(③⑤) ○安全な生活を目指して行動できる(①⑦) ○知り地場に誇りをもつことができる(⑨⑩) 	<p>【心を動かす出会いを大切に、感性を磨くことができる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分自身を高め、夢を強く努力できる 	<p>【架け橋期だけでなく0歳から15歳(中学3年生)までのカリキュラム】</p>										
こども園・小・中学校	<p>【西会津町特産ミネラル野菜とかかわりながら成長していく西会津っ子】</p> <p>《保小中一貫した取組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○絵本の読み聞かせやごっこ遊びなどを通していろいろな野菜を知り興味を持つようにします ○散歩や外遊びを通して、自然に親しみ、土や植物に触れることが好きになるようにします ○給食などでミネラル野菜を食べ、野菜が好きになるようにします <p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ○年長児と小1児が協力してミネラル野菜を栽培しながら、様々な交流を行います(栽培活動・生活科) →主に③④⑤の育成 <p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ミネラル野菜について地産に親しむ(生活科) →①② ○ミネラル野菜を取り入れた食生活(食育) →③④ ○ミネラル野菜を使った調理(家庭科) →⑥⑦ ○ミネラル野菜を使った献立を自分たちで考え作り出す(家庭科) →⑧⑨ ○ミネラル野菜の活用について地元の飲食店等でインタビュー(アントレ) →⑩ ○ミネラル野菜を使った西会津の活性化案を実行します(アントレ) ○ミネラル野菜を使った西会津の活性化案を実行します(アントレ) <p>→</p> <p>【ICTとかかわり】 [子どもたちとの時間を豊かにするためのICT活用] → [ICT基本の習得] ⇒ [ICTを身近に] ⇒ [ICTを活用して] ⇒⇒⇒⇒ [ICTの善き使い手に] ⇒⇒⇒</p> <p>【読解力の向上】(絵本や紙芝居などの読み聞かせ)⇒[いろいろな言葉の理解と使用] ⇒ [文の基本構造の理解] ⇒ [基礎的・汎用的読解力(リーディングスキル)の育成] ⇒⇒⇒ [読解力から表現力へ] ⇒⇒⇒</p> <p>→</p> <p>【自己肯定感の育成】 → [自己肯定感の醸成]</p>															
家庭(と地域)へ	<p>【いっばい甘え(愛情をもとめること)させて、自己肯定感の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報をこども園と共有する保護者間の交流を大切にする ~年長 ○(我が子も)大切に思っていることを伝える ○食べることを大切にする ○おいさつ・食前、読み聞かせやスキンシップも大切にする ○自然に接することを大切にする ○「したい」という気持ちを大切に見守る <p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ミネラル野菜栽培のことを経路にして、子どもの思いやイメージ、表現を磨かせる→①②の育成 ○生活リズムを整える「早寝・早起き・朝ごはん」 ○ルールを理解し守れるようにする ○オンラインでの体験とコミュニケーションを大切にする ○ミネラル野菜栽培を支援し、野菜作りの楽しさや食の大切さを伝える(ミネラル野菜普及会、JA、農林漁業課、食育ネットワーク連絡会等) <p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報を学校と共有する保護者間の交流を大切にする 小1~中3 ○お手伝いを推奨し、できたことをほめる 小1~小3 ○家族の一員としての役割を与え、自己有用感をもたせる 小4~小6 ○メディアの使用について家族の約束を明確にする ~中3 ○生活科・食育等での体験学習に協力する(地域ボランティア) ○アントレプレナーシップ学習に協力する <p>→</p> <p>【自己存在感の醸成】</p>															
町	<p>【こども園内子育て支援室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育てコミュニティ施設「キッズランド芝草」(旧芝草保育所) ○育児相談(こども園・子育て支援センター) <p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ○放課後児童クラブ「ひだまり子どもクラブ」(こども園内) ○放課後子ども教室「西小わくわくクラブ」(地域学校協働本部事業) ○家庭教育相談室「こころのオアシス」(西会津小内・地域学校協働本部事業)~中3 <p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ○こども研集塾 ○学習支援事業(地域学校協働本部事業) ○西会津かるた大会(小1~1歳) ○学校応援・地域交流事業(地域学校協働本部事業) 															

園校だけでなく家庭・地域のかかわりも記載